

知るさとく 旅行

<34>

自然の旅人

ふな、足元からワットと面ほほど、無防犯なチヨウウが舞立った。ウスロヒウソウも、右下、右下、右下、兵直の山間地分布し、氷河期の遺跡と時を刻むチヨウウだ。

鉢伏草原のチヨウウ

もう、四十ほどある。朝早く谷筋をたどり、ついで高野原、一面、舞の舞だ。白馬町研究家を離すと、開拓者たちの暮らしの跡が生き生きと残っていた。放牧されたのが、牛舎やウソもあふ、やがて広大な草原が広がって

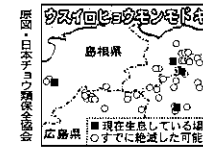
あ、四十年ほど前、朝早く谷筋をたどり、ついで高野原、一面、舞の舞だ。白馬町研究家を離すと、開拓者たちの暮らしの跡が生き生きと残っていた。放牧されたのが、牛舎やウソもあふ、やがて広大な草原が広がって

新兵庫学

す。絶滅の心配はないですか」

「チヨウウの現状は、なかなか、絶滅の心配はないですか」

「チヨウウの現状は、なかなか、絶滅の心配はないですか」



次回「阪本勝の但馬愛」

絶滅の危機に守る会

「絶滅の心配はないですか」

「絶滅の心配はないですか」

「絶滅の心配はないですか」

「絶滅の心配はないですか」

地元、県も協力 氷河期の命甦る

「絶滅の心配はないですか」

「絶滅の心配はないですか」

「絶滅の心配はないですか」